

未来づくり懇談会（東乙畑）会議録

日 時：平成29年11月14日（火）

18：30～19：53

場 所：越畑自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な乙畑地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等を説明

5 意見交換

Q1 西小が矢板小に統合ということだが、乙畑小の存続は確約できるのか。

A1 矢板市内にある公共施設を、廃止・存続・集約化する計画を作っている最中。矢板市は今後30年間、床面積ベースで公共施設を4割削減するという目標を立てた。現在、市民の代表の方にも入っていただき、個別の施設について検討をしている。

学校については、平成30年度に小中学校適正配置検討委員会を立ち上げる。文科省ではクラス替えができるような学校が基準と言われているが、小中一貫校や義務教育学校という方向もあるのではという提案もありそうだ。

まずは複式学級のない学校にしなければならない。西小は全部の学級が複式学級だということで先行した。また、放課後子ども教室のボランティアの減少や、西小の敷地が土砂災害警戒区域であること。さらに一部の地域については特別警戒区域にも指定されていること。校舎や体育館の老朽化もあり総合的に判断した。

平成29年10月	矢板小への統廃合 合意
平成29年11月	平成31年3月閉校で教育委員会議決、市議会報告
平成30年3月	矢板市公共施設再配置策定計画を策定
平成30年6月	矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置

Q2 ひまわりスクールの子どもが現在51名、来年度は60名になるところ。嬉しいことだが、教室が狭くて入りきれない悩みがある。今はランクルームで実施しているがテーブルが邪魔。うまい方法を考えてほしい。

A 2 雑然と子ども達の荷物が置いてある状況。片付けの提案もあるので、ロッカーに入れる工夫を考えていきたい。また廊下の方を使うという工夫も学校と相談したいと考えている。

平成 29 年 11 月 ロッカーを設置。

O 3 乙畑小はドクターヘリのランデブーポイントになっているが、砂が巻き上がるので水を撒かないと降りられない。水を撒ける準備をしてほしい。

平成 22 年 1 月のドクターヘリ運航開始の際に、ヘリを要請する場合は施設に消防署か消防団が出動し、散水することとなっている。

Q 4 学校北側の花壇を作らなくなったところに草が生えるので、何とかしてほしい。また、学校の排水路が小学校の北門の直角カーブあたりにあるが、排水溝の下側が若干崩れている。学童の通り道でもあるので、広くして舗装にしてもらいたい。

学校の北側に住宅から横断している排水路がある。そこが何回か崩れて、陥没し、砂利で直している。そこも併せてお願いしたい。

A 4 生活道路や側溝整備はどの行政区から必ず要望がある。要望の順番で工事をするのではなく、建設課で優先順位を決めて対応できないかということ具体的に検討している。建設課に現地確認させる。

平成 29 年度 現地確認済み。
平成 30 年度工事施工予定。

Q 5 片岡中生の通学路になっている道路が狭いので、大型車が進入を時間帯で区切れないか。

A 5 道路の管理者は、道路管理者と交通管理者の二つがあり、規制をかけるのは交通管理者である警察の権限に属する。規制する場合は交通量や沿線住民の理解なども必要となる。

矢板警察署へ上申する。

Q 6 安沢地区の焼却場の操業開始予定について、今分かる範囲で。

A 6 当初、平成 30 年 11 月 30 日までの完成予定で進めてきたが、平成 28 年 2 月に工事請負契約の議案が塩谷広域行政組合の議会で否決され、平成 30 年 11 月末までに完成しない見通し。

Q 7 スマート I C の進捗状況について。

A 7 去年 5 月末にスマート I C の新規事業化が決定した。現在、道路橋梁の詳細設計や用地の測量まで発注になっている。来年度以降は用地買収を予定。用地の協力がもらえれば、平成 33 年 3 月には完成させたいと考えている。

Q 8 駅東のサッカー場の進捗状況について。分かればお知らせ頂きたい。

A 8 フットボールセンターについては、当初県内 1 か所のはずであったが小山市と県

内二か所になってしまった経過がある。県サッカー協会の補助金の算定ミスなどがあり、市の支出が当初見込額より増加する事情もあった。

NPO法人たかはら那須スポーツクラブから、規模をグラウンド3面から2面にし、クラブハウスを縮小したうえであれば、矢板市からの補助金等は1億円ほどで済むので、設置運営したいとの提案を今年6月に受けた。現在はその計画が実現可能なのか、シンクタンクを交え検討しているところ。

平成 28 年 9 月	民間活力導入可能性調査業務を委託
平成 29 年 6 月	民間活力導入可能性調査の結果を議会全員協議会で報告。
平成 29 年 7 月	NPO 法人たかはら那須スポーツクラブから民設民営での実施提案書提出。
平成 29 年 10 月	事業計画検証業務を委託 検証結果、実現可能性ありと報告。
平成 29 年 12 月	12 月定例会で NPO 法人たかはら那須スポーツクラブに施設整備及び運営を委ねる旨を表明。

Q 5 2060年には人口2万1000人になるとの話があった。市として人口増、特に若い人の定住促進をどんな方法で進めようとしているのか。また、市内の高校とどのようにして連携をしていくのか。

A 5 昨年、策定した「矢板市版まち・ひと・しごと総合戦略」の中で「安定した雇用を創出する」という柱を掲げた。片岡地区では矢板南産業団地の分譲の促進に取り組まなければいけない。また市内の企業は、技術力が高い、業界でのシェアが高い企業があるので、企業PRにも、国の地方創生加速化交付金を活用し、昨年度から取り組んでいる。

平成 28 年 12 月	矢板市企業紹介冊子作成 矢板市企業研究セミナー開催
平成 29 年 2 月	やいたUターン意見交換会開催
平成 29 年 11 月	矢板市企業紹介冊子作成 作新祭出展
平成 30 年 2 月	保護者向けセミナー開催
平成 28 年度	高野商運、東色ピグメントの進出決定
平成 29 年度	小出鋼管の進出決定

高校生については、昨年度、矢板武塾のテーマを「高校生の居場所づくり」とし、社会人の方、市内の高校生の方に参加をしてもらった。本年度は、高校生限定で行い、研究発表を11月18日にしてもらう。高校生目線で切り取った矢板のまちづくり提案をすること。高校生の目線を矢板市の施策に繋げていきたい。

平成 28 年度	矢板武塾の開催 参加人数：13人（うち高校生9人）
平成 29 年度	矢板武塾の開催 塾生主導で「高校生の居場所づくり」について検討。参加人数：11人（すべて高校生）
平成 30 年度	高校生を主体とするまちづくり団体の活動を目指す。

Q 6 片岡にはせっかくのいい駅があるからあれを生かすべきは。

A 6 片岡駅の駅舎の橋上化と東西自由通路、西口広場ができ、片岡西通りに通じるアクセス道路もできた。一過性のイベントも大切だが、しっかり整備された施設、エリアを生かす努力をしていきたいと感じている。

併せて片岡駅の東口もきれいにできないか検討している。

平成 29 年度	片岡駅東口広場の設計
平成 30 年度	用地取得

Q 7 片岡西通り（県道矢板・那須線）の工事が中断しているが、経過を知りたい。

A 7 県道なので矢板土木事務所が交渉や工事については行っている。都市計画変更の手続きを今年中に行い、具体的な検討を進めていると聞いている。

Q 8 市営バスを乙畑地内に回すことはできないか。

A 8 市営バスの路線を充実させていくのも一つの方向性だと思うが、バス停までが遠いとか、バスの本数が少ないという課題は根本的に解決できない。市営バス以外にも他の市町ではデマンド交通を導入しているところもある。自治体によっては福祉タクシー券を交付しているところもあるので、いろいろな面から今後検討していく。

平成 29 年 10 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の実証実験
平成 30 年 4 月	65 歳以上の運転免許証自主返納者の市営バス無料化 65 歳以上 75 歳の誕生日まで
平成 30 年 4 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の本格実施
平成 30 年 4 月	福祉タクシー券交付事業の見直し 85 歳以上 → 80 歳以上 ※年齢引き下げ 月 2 枚（最大 24 枚） → 年 24 枚 市外タクシー業者との協定実施